

まちを
「つくる」
「つかう」
「つなぐ」
そして

ひろげる



長岡市中心市街地活性化基本計画（第4期計画）【概要版】

（計画期間：令和7年4月～令和12年3月）

新潟県長岡市

1

これまでの活性化の取組み

計画書本編 p1～6
1章[1]参照

長岡城とともに開かれた長岡市の中心市街地は、本丸が駅に変わるなど、その姿を変えながら400年間地域の中心として発展してきました。しかしながら、平成に入るとモータリゼーションの進展や市街地の拡大と、都市機能や人口の流出などにより、徐々に中心市街地が衰退し、その活力の低下が問題となりました。

このような状況から、中心市街地の構造を抜本的に見直すため、長岡市中心市街地活性化基本計画（第1期計画）に取組み、「アオーレ長岡」や市街地再開発事業による都市機能の更新を図るとともに「まちなか型公共サービス」の展開による活性化を進めてきました。

第2期計画では「アオーレ長岡」を中心としたイベントや市民活動の展開を通じて、まちなかが市民の「心のよりどころ」として幅広い世代に使われるようになりました。

さらに、第3期計画では長岡の歴史・アイデンティティに着目しつつ、市内4大学1高専の立地や高い企業集積を活かした産業振興と次世代の長岡を担う人材育成の拠点として「ミライエ長岡」の整備を進めてきました。そして、令和5年にミライエ長岡の西館を先行オープンし、互尊文庫の移転など、まちなか型公共サービスを充実するとともに、産学官金連携のもと「NaDeC構想」*1の活動が展開される中で、中心市街地は長岡市全体を支えるハブとして、イノベーションを生み出すまちへと生まれ変わろうとしています。



長岡市中心市街地（手前がJR長岡駅、その奥に信濃川、西山連峰を望む）

第2期：2014年4月～2019年3月
○第1期で整備した施設の市民による活用促進
○まちなかの価値創造につながる機能導入の促進

第1期：2008年11月～2014年3月
○市役所移転など、「まちなか型公共サービス」の展開
○まちなか居住、都市福祉施設促進、産業振興策の展開
○市民協働の推進

モータリゼーションの進展、市街地拡大、都市機能や人口の流出等による中心市街地の衰退

第3期：2019年4月～2025年3月
○米百俵の精神を受け継ぐ人材育成・産業振興の拠点づくり
○長岡の歴史・アイデンティティを物語る施設の再整備

そして
ミライへ

*1：市内4大学1高専及び企業集積を活かした新たな産業の創出と人材育成を目指す産学官金連携の取組。

2

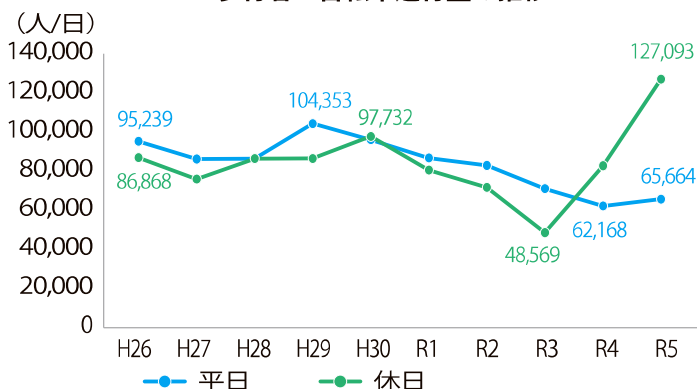
活性化の課題

計画書本編 p16～17
1章[3]参照

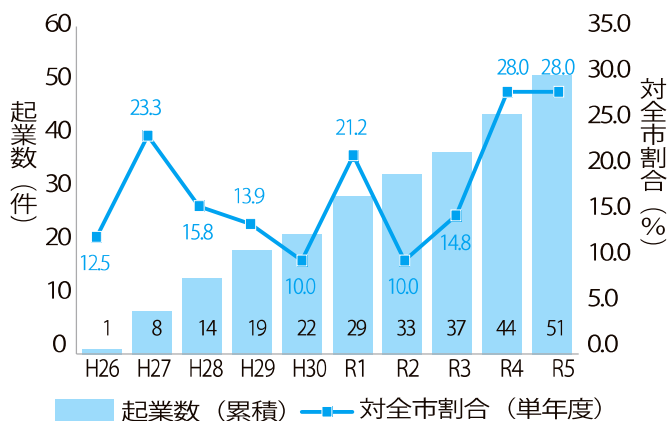
現状

- コロナ禍を乗り越え、歩行者通行量は上向き、まちなか全体にその傾向が広がりつつあります。
- まちなかでの起業数は順調に推移し、全市に対する起業数の割合は増加傾向です。
- 全市人口が減少する中で、まちなかの居住人口は横ばいで推移しています。

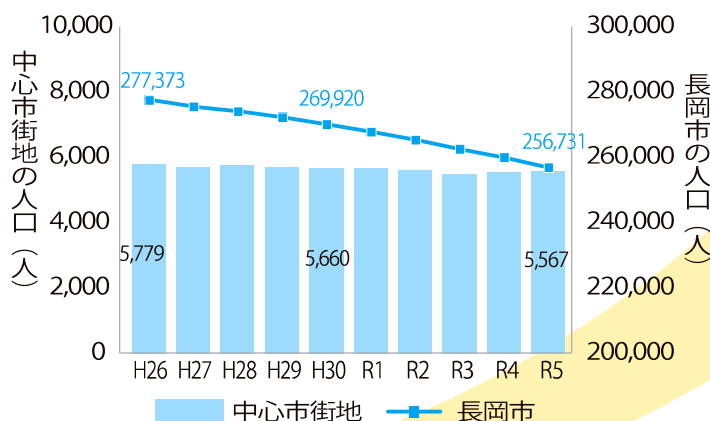
歩行者・自転車通行量の推移



中心市街地内の起業数とその対全市割合



中心市街地の居住人口の推移



課題

**チャレンジする人の
個性や可能性を引き出す
環境を創る**

ミライエ長岡のフルオープンを契機に、まちなかでイノベーションを生み出す環境を整えるなど、チャレンジする人の個性や可能性を引き出す機会や場づくりが必要です。

**多様化するニーズへの対応と
活躍できる場所を確保する**

多様化が進む働き方・暮らし方のニーズに対応し、誰もが活躍でき、働きたいと思える環境づくりが必要です。

**魅力の向上により
回遊性を高める**

まちなかで過ごしたくなるような魅力の向上と、公共交通など移動しやすい環境づくりにより、回遊性の向上が必要です。

3

活性化の目標とテーマ

計画書本編 p18～20
1章[4]参照

活性化の目標

長期的な視点に立ったまちづくりのテーマとして、「長岡まちなか創造会議」から示された目標を継続します。

みんなが創るまちなかの価値

～誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち～

取組みにあたっての主な視点

本市全域さらには中越地域の産業振興、活力創造を見据え、次の視点に力点を置いて活性化に取り組めます。

「人づくり」、「産業振興」、 日本初「イノベーション地区」へ

ミライエ長岡での人材育成や産業振興施策による起業、首都圏のIT系企業のサテライトオフィスなど「都市型産業」の集積を誘導し、女性や若者にとって魅力的な働く場を確保します。

東京から90分の好立地で、NaDeCBASEに集う4大学1高専、地元産業界、商工会議所などの産業支援機関等と、市外の人材、企業等の活発で創造的な交流により新しい価値やチャレンジが生まれる「イノベーション地区」の形成を、民間投資を誘発しつつ促進します。

中心市街地の就業者を増加させて、就業者に対する飲食等の関連サービス産業が充実することで、中越地域の中心都市として拠点性や便益を高め、好循環を生み出し、賑わいを創出します。

交通、通信等のネットワークを活かして、支所地域など自然豊かな環境に居住し、中心市街地に通勤あるいはリモートワークすることで、中心市街地の新たな都市型産業の集積による効果や成果を市域全体にひろげていきます。

まちづくりのテーマ

「主な視点」を踏まえ、第4期の新たなテーマを次のとおり設定します。

まちを
「つくる」、「つかう」、「つなぐ」
そして

ひろげる

1期



つくる

- ・アオーレ長岡の整備をはじめとした「まちなか型公共サービス」を展開。
- ・中心市街地が、長岡広域市民の「文化・情報・交流の場」となった。

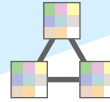
2期



つかう

- ・第1期計画で整備された空間が多様な人々に多様な形で使われ、市民の「心のよりどころ」になった。
- ・大手通表町西地区の市街地再開発事業等、生活者の視点の新たな機能誘導により長岡の「顔」「シンボル」として浸透した。

3期



つなぐ

- ・大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業により、ミライエ長岡の西館を先行オープンし、必要な都市機能を集積した。
- ・NaDeC 構想先行実施事業等により、起業家の活動拠点を設け、中心市街地が「イノベーション創出の場」となりつつある。

4期



ひろげる

- ・大手通を軸とした「まちなか型公共サービス」の展開の総仕上げ。
- ・ミライエ長岡の整備を完了させ、チャレンジする人のイノベーションを促し、新たな活動の輪をまちなかから、市内全体にひろげる。
- ・賑わいの核と新たな賑わいの核をつなぎ、新たなまちづくりの芽を育て、賑わいを全体にひろげる。

“公共投資”に重点をおいた活性化が生ま出す

“市民協働”による市民の居場所づくりが生ま出す

“若者や事業者”の活動の活性化につながる

“多様な人”の活動の輪がひろがる

みんなが創る
まちなかの価値

基本方針

1

チャレンジする人を支え、
新たな活動
を「ひろげる」

目標

まちで
「起業する人」
を増やす

2

多様な人が集い、
交流の輪
を「ひろげる」

まちに
「集う人」
を増やす

3

魅力にあふれ、
にぎわい
を「ひろげる」

まちを
「歩く人」
を増やす

4

活性化の区域と事業

計画書本編 p21, 22, 40～78
2章、4～8章 参照

●計画期間：令和7年4月～令和12年3月（5年間） ●総事業数60事業

中心市街地
区域
約96.3ha

事業凡例 4章 市街地整備改善 5章 都市福祉施設整備 6章 まちなか居住推進 7章 経済力向上 8章 公共交通利便増進等

新規事業（13事業）★ 継続事業（47事業）

- 4-2 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業
- 4-3 まちなか図書館（仮称）整備事業
- 4-4 まちなか観光交流センター（仮称）整備事業
- 4-5 まちなか地域交流センター（仮称）整備事業
- 4-6 米百俵広場（仮称）整備事業
- 4-7 歴史人物史展示整備事業

- 5-1 ミライエクリエイティブキッズプログラム実施事業
- 5-2 ミライエ長岡ティーンズラボ（仮称）運営事業★
- 5-3 ミライエ講演会★
- 5-13 多世代交流拠点整備検討調査事業
- 5-14 まちなか図書館（仮称）整備事業【再掲】
- 5-15 まちなか観光交流センター（仮称）整備事業【再掲】
- 5-16 まちなか地域交流センター（仮称）整備事業【再掲】
- 5-17 米百俵広場（仮称）整備事業【再掲】
- 5-18 歴史人物史展示整備事業【再掲】
- 5-19 互尊文庫窓口運営事業★

- 5-7 トモシア交流支援事業

- 6-1 若者のまち居場所づくり推進事業

- 7-5 若者向け交流支援事業★
- 7-6 中高生向け人材育成事業★
- 7-8 NaDeC推進事業
- 7-9 学生起業家育成事業

- 6-2 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業【再掲】

(区域全体に係る事業)

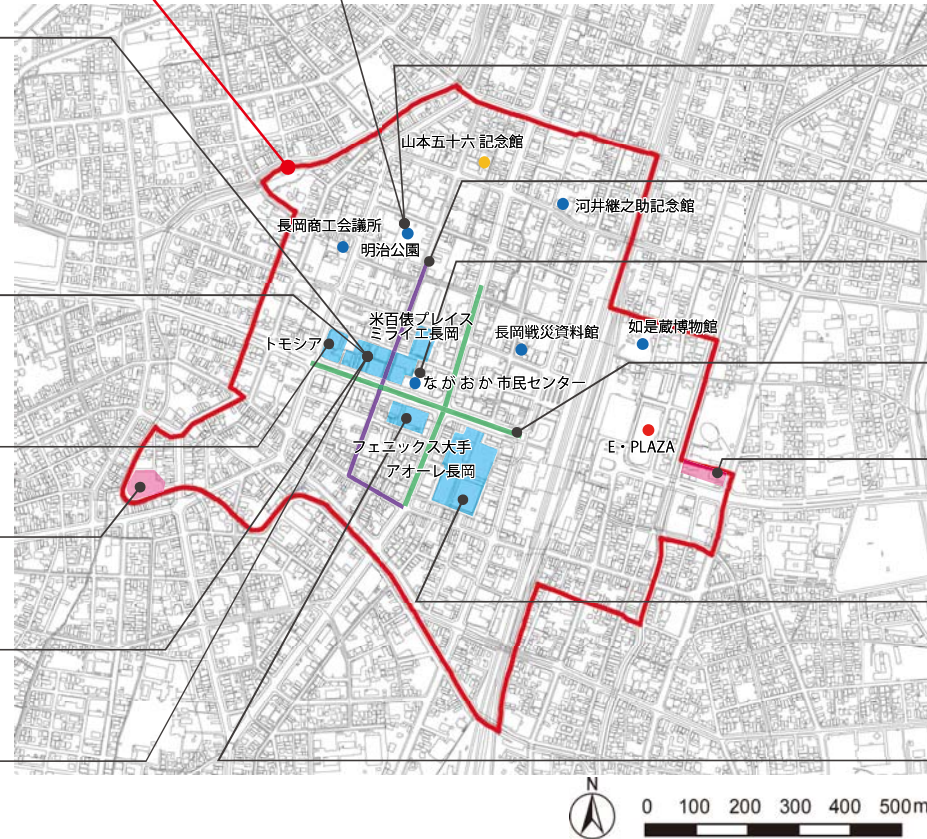
- 4-1 大手通界隈D(城内町1丁目)地区優良建築物等整備事業
- 4-9 駐車場案内システム改善事業
- 4-10 まちなか公共サイン整備事業
- 4-12 まちなか建物更新等支援事業

- 6-3 空き家対策事業
- 6-4 まちなか居住区域定住促進事業
- 6-5 低未利用地流通促進事業★
- 6-6 まちなか建物更新等支援事業【再掲】

- 7-2 まちなか賑わい創出事業
- 7-3 中心市街地活力再生事業
- 7-4 中心市街地活性化調査・検証事業
- 7-7 学生来街交通費補助事業
- 7-10 若手事業者活動支援事業
- 7-11 商店街ライトアップ促進事業
- 7-12 個別商店街の活性化事業
- 7-14 まちなか商店街賑わい創出事業
- 7-15 長岡まつり平和祭・屋行事の開催
- 7-16 米百俵まつりの開催

- 7-17 越後長岡酒の陣の開催★
- 7-18 多文化共生推進事業
- 7-19 バスケットによるまちづくり事業
- 7-20 女性活躍推進事業★
- 7-21 地域おこし協力隊活用事業★
- 7-22 若者提案プロジェクト実現事業
- 7-23 商業環境施設整備事業
- 7-24 共通駐車券・お買物バス券事業
- 7-25 サテライトオフィス誘致事業★
- 7-26 若青年期向け健康増進推進事業★

- 8-1 学生来街交通費補助事業【再掲】
- 8-2 駐車場案内システム改善事業【再掲】
- 8-3 路線バスキャッシュレス決済導入事業★
- 8-4 ノンステップバス等導入事業



- 5-13 長岡戦災資料館整備移転事業

- 4-8 明治公園整備事業

- 7-13 露天市場管理運営事業（五・十の市）

- 4-11 ながおか市民センター地区整備検討事業★

- 7-1 歩道の有効活用「まちカフェ」事業

- 5-21 長岡駅東口地区公共施設整備検討事業

- 5-5 アオーレ長岡活用事業
- 5-6 ナカドマ活用事業
- 5-8 すこやかともじびまつり事業
- 5-10 二十歳のつどい連携事業
- 5-11 まちなか美術展覧会事業

- 5-4 まちなかキャンパス長岡事業
- 5-9 子育ての駅ちびっこ広場駐車料金負担軽減事業
- 5-20 子育ての駅ちびっこ広場・まちなか保育園事業

5

活性化の目標指標

計画書本編 p29～39
3章参照

事業の効果や活性化の状況を把握するため、目標指標を設定します。

目標指標1 まちで「起業する人」を増やす

●中心市街地内の起業数

基準値 (R1～R5) 29 件/5年 ▶ 目標値 (R7～R11) 36 件/5年

目標指標2 まちに「集う人」を増やす

●中心市街地内の居住人口

基準値 (R5) 5,567 人 ▶ 目標値 (R11) 5,585 人

●中心市街地内の公共施設利用者数

基準値 (R5) 143.3 万人/年 ▶ 目標値 (R11) 196.3 万人/年

参考指標：うち大手通交差点より西側 基準値 (R5) 48.5 万人 ⇒ 目標値 (R10) 74.9 万人

目標指標3 まちを「歩く人」を増やす

●大手通交差点より西側の歩行者・自転車通行量（平日）

基準値 (R5) 17,854 人/日 ▶ 目標値 (R11) 18,820 人/日

共通の参考指標：中心市街地で活動や交流することが増えた市民の割合

基準値 (R5) 20.6% ⇒ 目標値 (R10) 24.2%

長岡市中心市街地活性化基本計画は、令和7年3月に内閣総理大臣の認定を受けました。

長岡市中心市街地整備室

〒940-0062 長岡市大手通2丁目6番地
フェニックス大手イースト7F
TEL：0258-39-2807 FAX：0258-39-2827
E-mail：shigaichi-seibi@city.nagaoka.lg.jp